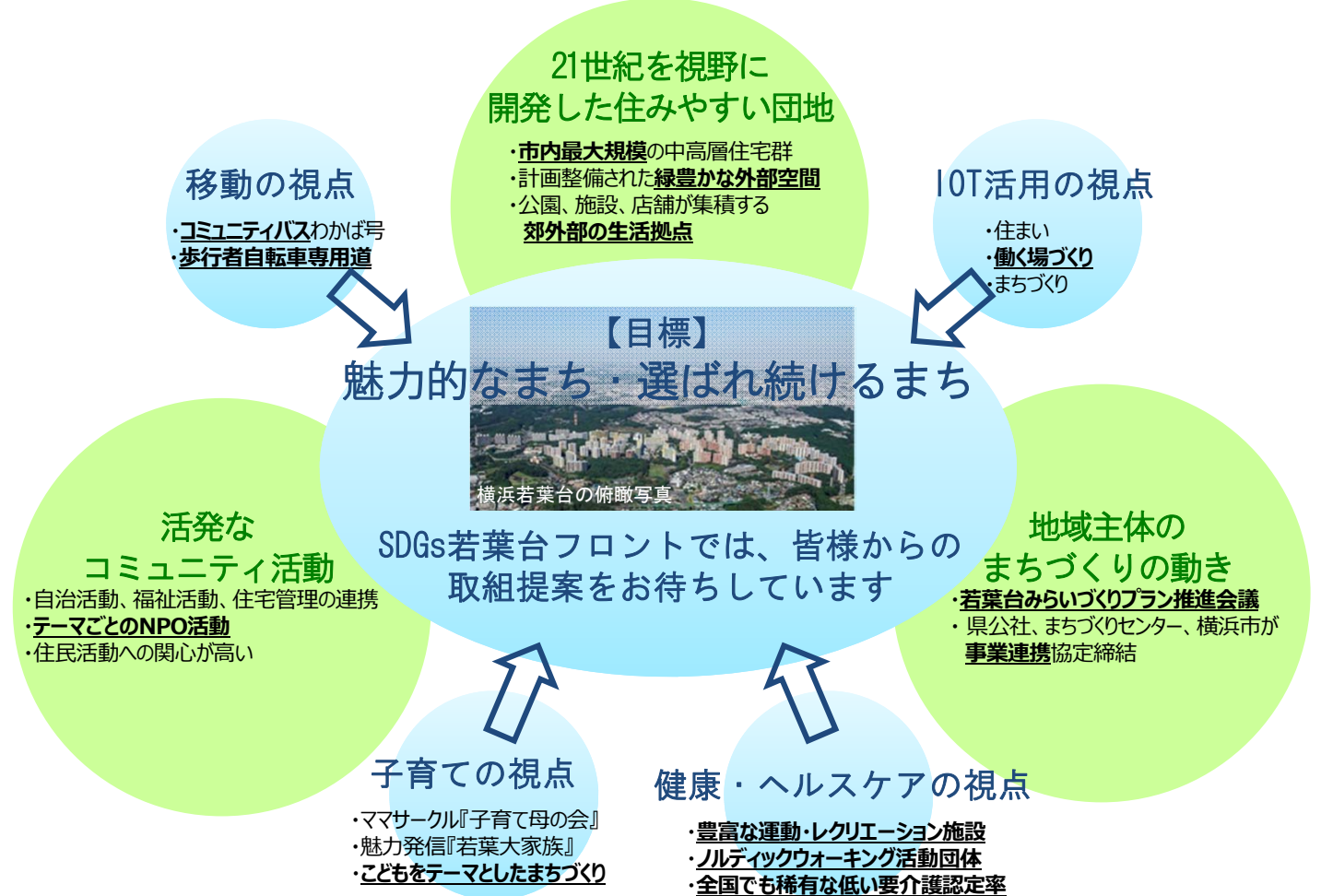


横浜市は『SDGs未来都市』に選定され、環境・社会・経済の3側面での課題解決に取り組んでいます。旭区は活発なコミュニティ活動を中心に大規模な団地全体でまちづくりを展開している若葉台において『SDGs若葉台フロント』を立ち上げ、多様なパートナーシップとの連携による新たなまちづくりを推進しています。

【まちの強みを活かした新たなまちづくりのイメージ】



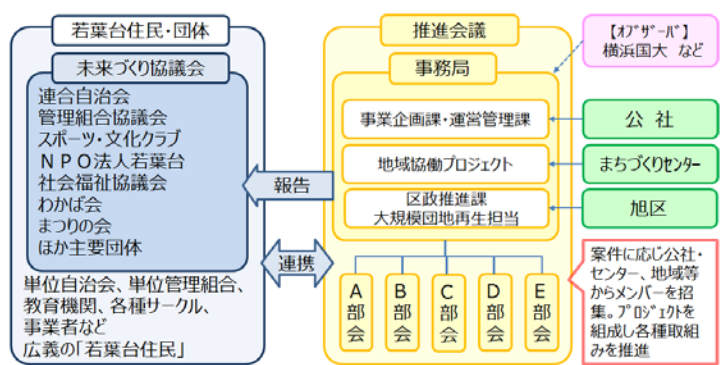
【活発な住民活動】

年中行事と参加人数

- 4月 桜まつり (約500人)
- 5月 鯉のぼり&みんな集まれ (約500人)
- 6月 高齢者交流会 (約500人)
- 7月 夏まつり (約3万5千人)
- 10月 合同防災訓練 (約2千人)
- 大運動会 (約1.3千人)
- 11月 文化祭 (約5.2千人)
- 12月 キャンドルナイト (約500人)
- 1月 正月マラソン大会・どんど焼き (約600人)



【まちづくりの推進体制】みらいづくりプランのマネジメント体制



【まちの概要】 ■人口14,386人、65歳以上の高齢化率46.8%、世帯数6,739世帯（平成29年9月30日現在） ■開発状況 □時期：昭和54年着手、2019年で入居40周年 □住戸：14階を中心にした75棟の中高層住宅団地 分譲5,186戸（多様な間取り）、賃貸790戸（バリアフリー化）、高齢者住宅326戸 ■店舗：量販店、専門店等47店舗 ■施設 □スポーツ施設：野球場、体育館、スポーツジムなど約10箇所 □公園10箇所、計14.8ha □歩車道分離 ■設置者：神奈川県住宅供給公社（団地再生事業） ■若葉台まちづくりセンター（マンション・駐車場管理、商店街運営管理、不動産売買・賃貸仲介、住宅リフォーム、生活支援サービス等） ■活動団体：NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ（利用者数年間述べ約190,000人）、子育てや高齢者、障がい者など様々な分野の6施設を運営するNPO法人若葉台、交通支援を行うNPO法人2団体（NPO法人あさひ、NPO法人「いっぱい」若葉台事業所のこのこの会）、イベント年約60回を開催する若葉台子育てささえあい連絡会（プレイパーク、育児支援イベント「わいわい広場」、見守り付きのキッズルーム「わかさぼ」、多世代交流「みんなあつまれ」）、コミュニティ・オフィス春（WEBマガジン「若葉だい家族」、子育て情報紙「Haruからはじまる」の発行） ■管理組合（100年マンションプロジェクト） ■高いアンケート回収率：29年度実施「健康とくらしのアンケート」の回収率8割以上 ■2025年問題を見据えた旭区大規模団地再生モデル構築事業：人口減少・高齢化が進行し、様々な課題が顕在化している大規模団地（旭区内4つが対象）において、地域住民や事業者、大学、行政等が協働するまちづくり。平成29年度着手。

この資料は横浜若葉台への理解を深めていただくことを目的として、地域から寄せられた情報をもとに構成しています。